

日本小児耳鼻咽喉科研究会運営委員会議事録

日 時：平成13年7月7日（土）

場 所：ホテル京阪京橋

出席者：古賀運営委員長、市村（第45回会長）、今村、大迫、大塚、金子、川内、川城、工藤、佐々木、佐野、鈴木、田中（保大）、土橋、寺本、中井、西崎、福永、古川（漸）（第44回会長）、八木沢（50音順、敬称略）

【議題】

1. 第44回大会の件（H13.7.15）

古川漸会長より、今回の大会についての挨拶があった。

2. 第45回大会の件（H13.12.1）

市村恵一会長より、会期は平成13年12月1日、東京商工会議所ビルにて開催、テーマは”小児の頭頸部の画像診断”特別講演2題が予定されていることが報告された。演題締切は平成13年9月14日（金）。

3. 第46回大会の件（H.14.7.6）

西村忠郎会長に変わって八木沢氏より、会期は平成14年7月6日に予定、テーマは”いびきおよび呼吸障害”と報告された。

4. 第47回大会の件（H.14.12.7）

会長として森川昭廣教授（群大医小児科）または福永慶隆教授（日本医大小児科）が推薦され、いずれか相談の上決めることが承認された。会期は平成13年12月1日の予定。（その後森川昭廣教授に決まった）

5. 庶務報告

鈴木庶務担当委員から以下の報告があった。

1) 現会員数は639名。

2) 入会者、退会者についての承認が行われた。

6. 会計について

川城会計担当委員から、平成13年6月30日までの平成13年度収支の中間報告があった。平成13年度会費納入率は93%と報告された。また、会場費や運営委員会費の節減の必要性や、ホームページ作製費用が新たに計上されたことなどが報告された。

7. 会誌編集について

佐々木(飯野会誌編集委員代理)より、平成13年7月号から会誌の紙質を変更したことが報告された。

8. その他

1) ホームページの件について、ホームページの性格については会員内のみの情報交換の場にしたいこと、また内容については当面は会期やテーマなど事務的な内容が中心となることが報告された。寺本委員から意見が述べられた。

2) 土橋委員より、日耳鼻より依頼のあった、外保連への申し入れとして、手術点数の改正や特定医療材料の点数化で申請中であることが報告された。また小児外科系関連学会協議会でまった要求をする方向で作業中で小児関連施設で連携してゆくことになっている。特に要望があれば土橋委員連絡することなどが報告された。

3) 大迫委員より、会場費節減のため、第46回大会以後、大阪会場を「葉業年金会館(谷町6丁目)」にすることが提案され承認された。東京での会場についても変更を検討中である。

4) 日本小児科学会の舌小帯短縮症手術調査委員会の報告が、平成13年7月号会誌に掲載された。

会の終りに、先日逝去なされた名越好古先生に黙祷を捧げた。

日本小児耳鼻咽喉科研究会

運営委員長 古賀慶次郎

庶務担当 鈴木淳一

文責 佐々木祐佳子